

事業計画書

事業名	杉原千畝夫妻顕彰活動
実施場所	港口公園 市民文化センター・小ホール
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和3年 4月24日～ 令和3年11月30日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

昨年11月1日に除幕した顕彰碑の周辺での命のビザ・希望の集い、11月3日に開催した講演会の続編としての講演会を開催し、広く市内外の方々、中高校生の皆さんに杉原千畝夫妻の偉業を知って人道の精神を学んでもらう

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

まず、杉原千畝氏の奥様・幸子夫人の誕生地が沼津であることを知り沼津の誇りとしてもらいたい。お二人の偉業と人道の精神を心の糧として世界の人々に尊敬される日本人になってもらいたい。また沼津市民、若い人々に世界的な視野、国際感覚を磨いてもらい国際交流と世界の平和に寄与していただきたい。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
4月24日（土）	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 第一回実行委員会 事業計画について 以降、原則として月一回、第3土曜日午後で開催する。
11月14日（日）	命のビザ・希望の集い 午前11時～午後2時 野外茶会と邦楽演奏会 沼津文化協会の茶道部門、邦楽部門に協力してもらう 参加対象 沼津市民ほか 会場：港口公園、顕彰碑周辺 お茶券500円
11月27日（土）	命のビザ講演会 午後1時～1時半 講師：川村秀 「杉原千畝という人～モスクワでの出会い～」 午後2時～3時 講師：北出明 「命のビザを繋いだ人々」 午後3時～3時半 質疑応答 会場：沼津文化センター・小ホール 入場料500円 その他、要請があれば、出前講座に応じる。

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

昨年に取り組んだ顕彰碑の建立事業は沼津市、マスコミ各社の協力、そしてリトアニア大使館、イスラエル大使館の参加により、市内外に認識されたと思う。また、講演会、一人芝居の公演により、命のビザ発給についての理解が深まったと思う。コロナ流行の困難な状況下において想定以上の方々の参加を得ることができた。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>参加者目標 1、命のビザ講演会 200名 2、命のビザ希望の集い 150名</p>	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>参加者を集約する。</p>
-------------	--	---------------------	---

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>沼津市のテーマである「誇り高い元気なまち」づくりに寄与できると思う。また、国際交流促進の契機になる事業にもなる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>「命のビザ」発給にあたり杉原千畝のよき相談相手となり支援し、千畝氏の偉業を出版や講演活動により伝えた、幸子夫人の誕生地である沼津の誇りである。このご縁を生かし、沼津市民の意識向上、学習意欲の醸成に寄与することができる。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>これまでの顕彰活動は、杉原千畝個人に焦点をあてたものであったが、幸子夫人にも光を当て御夫妻を顕彰する点、画期的なものであり、男女共同参画社会に相応しいものであると思う。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>先行して顕彰活動をしている、愛知県、岐阜県、八百津町、敦賀市などの自治体、NPO 杉原千畝命のビザなど諸団体との連携して発展が期待できる事業である。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>昨年は、新型コロナウイルス流行の困難な状況にもかかわらず、ファンドの支援を受けた講演会、一人芝居の公演に、それぞれ130名、180名の参加者があり、前向きな感想が寄せられた。顕彰活動の基礎ができたように思う。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>痛ましい第2次戦争冒頭において世界に尊敬した日本人がいたこと、また支援者がいたことなどを市内外の人々に認識してもらい、誇りとし標としていただき、沼津市で人道の精神をもった人材が育ち羽ばたくことを願っている。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

毎年11月に港口公園の顕彰碑前で、趣向を変えて、命のビザ・希望の集いを開催する。

令和2年11月に公演した一人芝居「6千人のビザ」（ポカラの会）が幸子夫人を主人公にしたものであった。これに対し杉原千畝本人を主人公にした一人芝居「決断命のビザ」（水澤心吾主演）の公演を目指す。